

資料 2

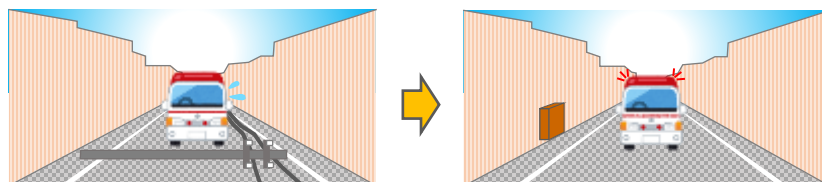


～通学路かつ狭隘道路における無電柱化工事の事例～

文京区無電柱化推進計画における基本方針

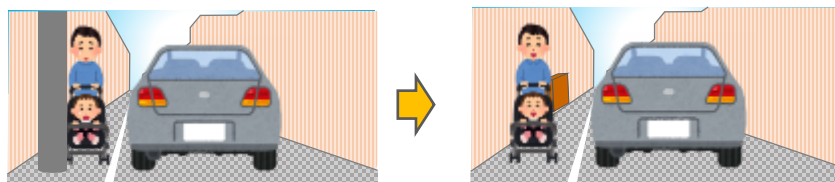
■ 災害に強い都市の整備

電柱や電線をなくすことにより、災害時に電柱倒壊の道路閉塞による避難や緊急活動への支障を防ぐとともに電線類の被災を軽減し、電気や電話などのライフラインの安定供給を確保するなど、防災機能の強化を図る。



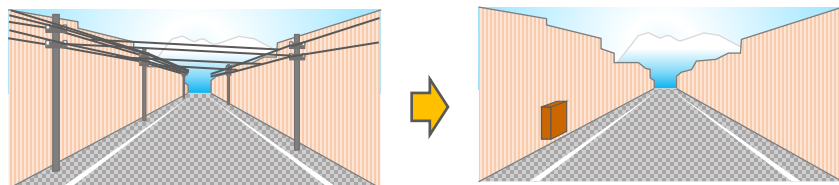
■ 歩行空間の快適性の向上

歩道内の電柱をなくすことにより、高齢者や障害者、ベビーカー利用者などが移動しやすいバリアのない歩行空間を確保する。



■ 地域の魅力を生かした良好な景観まちづくり

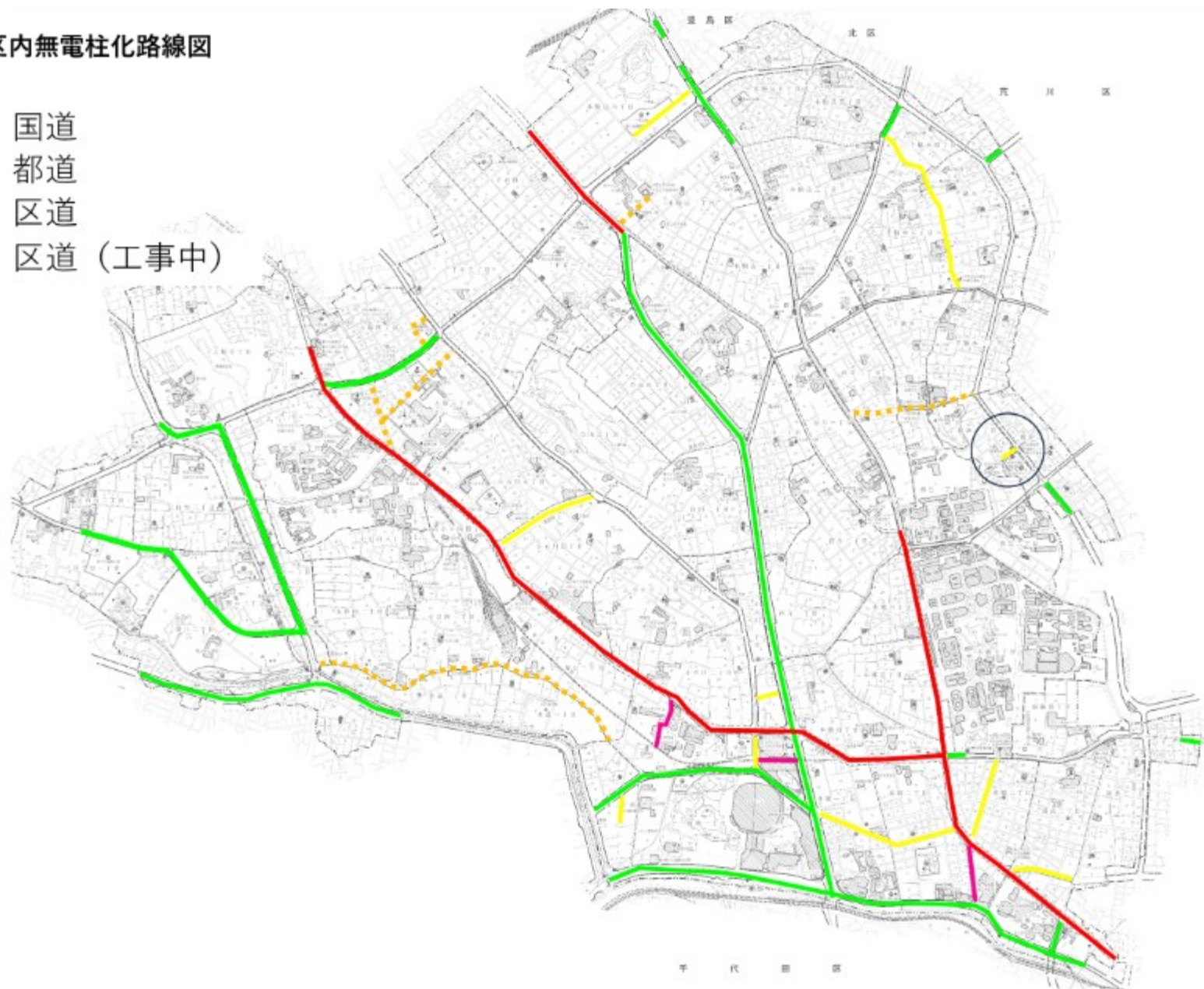
視線をさえぎる電柱や電線をなくし、文京区らしい景観の向上を図る。



文京区無電柱化推進計画(整備路線)

文京区内無電柱化路線図

- 国道
- 都道
- 区道
- ⋯ 区道 (工事中)



事業概要

- 対象路線 特別区道文第582号 延長約68m(幅員5.2~9.4m)
- 事業期間 令和3~6年度
- 総事業費 約2.3億円
- 地中化 電線共同溝方式



文京区内の管理者別道路延長・面積

	延長 (m)	面積 (m2)
国 道	8, 1 7 3	2 0 2, 8 2 4
都 道	2 1, 1 0 8	6 5 1, 0 9 6
首都高	2, 2 8 1	5 5, 4 2 5
区 道	1 7 0, 9 2 2	1, 0 4 7, 3 9 7
総 計	2 0 7, 4 8 4	1, 9 5 6, 7 4 2

文京区道の幅員別内訳

		延長（m）	面積（m2）	
幅員別内訳	4 m以上	5.5 m未満	4 2, 2 9 7	2 9 6, 8 7 7
		5.5 m以上	2 7, 0 4 4	2 7 7, 2 6 6
		1 3.0 m以上	2, 3 1 6	5 3, 6 0 3
		1 9.5 m以上	5 0 2	1 9, 0 4 7
		小計	7 9, 1 5 9	6 4 6, 7 9 3
	4 m未満	3.5 m未満	7 5, 6 3 4	3 0 9, 5 3 6
		3.5 m以上	1 6, 1 2 9	9 1, 0 6 8
		小計	9 1, 7 6 3	4 0 0, 6 0 4
	総計		1 7 0, 9 2 2	1 0 4 7, 3 9 7

区道の53%が
幅員 4 m 未満

①～通学路の安全対策～

②～狹隘道路での作業～

③～住民への影響～

直面した課題と対応① ～通学路の安全対策～

主な課題

- ・ 小学校の通学路として指定されている
- ・ 幼稚園・保育園も近接している

検討事項

- ・ 騒音、振動
- ・ 特に登下校の時間帯の安全確保
- ・ 作業計画

対応

- ・ 作業計画を個別調整
- ・ 登下校時間帯やお昼寝時間は騒音・振動が生じる作業はしない

音・振動のでない作業



校門前に誘導員常駐



直面した課題と対応② ～狭隘道路での作業～

主な課題

- ・ 歩道がない
- ・ 地上機器の設置箇所
- ・ 架空線の輻輳

検討事項

- ・ 施工空間の確保
- ・ 公共用地
- ・ 施工手順

対応

- ・ 設計段階でクレーンオペレーターに現地確認してもらい、意見を設計に反映
- ・ グリーンスポットの活用
- ・ 特殊部の細分化と作業手順の見直し



特殊部設置検討図



地上機器



特殊部仮置



掘削



特殊部設置

10

無電柱化

- ・ 竣工延長 68m

電柱撤去数

- ・ 8本

通学路の安全性向上

- ・ 電柱がないことによる安全な歩行空間の確保

防災性向上

- ・ 災害時の電柱倒壊による道路閉塞や断線等を防止



- 狭隘道路向けの標準工法(地中化方式)の検討
- 工期短縮策
- 異なる道路管理者間の連携による一体的整備
- 交差点等の特化した場所における無電柱化
- 多様な整備手法の推進